

第2回 建物の湿害 公開研究会

対象：沖縄県を中心とした蒸暑地域の建築関係者

最新の情報を共有



蒸暑地域の 湿度と結露について 話してみませんか？



会場：沖縄県立博物館・美術館 実習室（博物館）

沖縄県那覇市おもろまち3-1-1

開催趣旨

沖縄のような年間を通じて高温多湿な地域（蒸暑地域）では、内装や天井裏、壁内などで結露やカビの発生など湿気に関する問題（湿害）が発生しやすい環境となっています。

地球温暖化により気温・湿度が上昇し続ける中、蒸暑地域がさらに拡大する可能性は高く、そこでの住環境に関する課題解決は必須と考えられます。これまで冬季の寒さを対象としてきた日本の建物のあり方に大きな転換点が訪れているともいえるでしょう。現在沖縄で発生している湿害は、今後の日本のより広い地域における湿害のスタンダードとなる可能性を孕んでいます。

本公開研究会は、現在の沖縄で発生する湿害問題について、研究者・設計者・施工者だけではなく、居住者を含むすべての人々の認知度を高め、蒸暑地域での湿害を「仕方のない問題」ではなく「解決すべき問題」としての問題提起と情報交換を行うことを目的としています。

プログラム

01 蒸暑地域の気候特性

安福勝氏（近畿大学教授）

小椋大輔氏（京都大学教授）

02 蒸暑地域の湿害事例と対策に向けて

照屋盛之氏（株式会社ツナミ組 品質管理部）

03 蒸暑地域での湿害事例と対策

西島恵歴氏（株式会社守礼ホーム 代表取締役）

04 どこにでも起こりうる未解決湿害事例

中本清氏（株式会社宮平設計 顧問）

開催日時

2025

2.21 | 14:30-16:40

お申し込みはこちら

参加無料（先着30名）



主催・お問い合わせ：蒸暑地域湿害研究センター moisture.damage@gmail.com